

勝山市地域おこし協力隊 令和6年度 活動報告

2025年5月9日

勝山市地域おこし協力隊 山崎瑠美



山崎 瑠美

神奈川県藤沢市出身。

創造的で持続可能なブランドづくり、地域資源の再発見や価値発信などに強い関心があり、3年前に福井県勝山市へ移住。

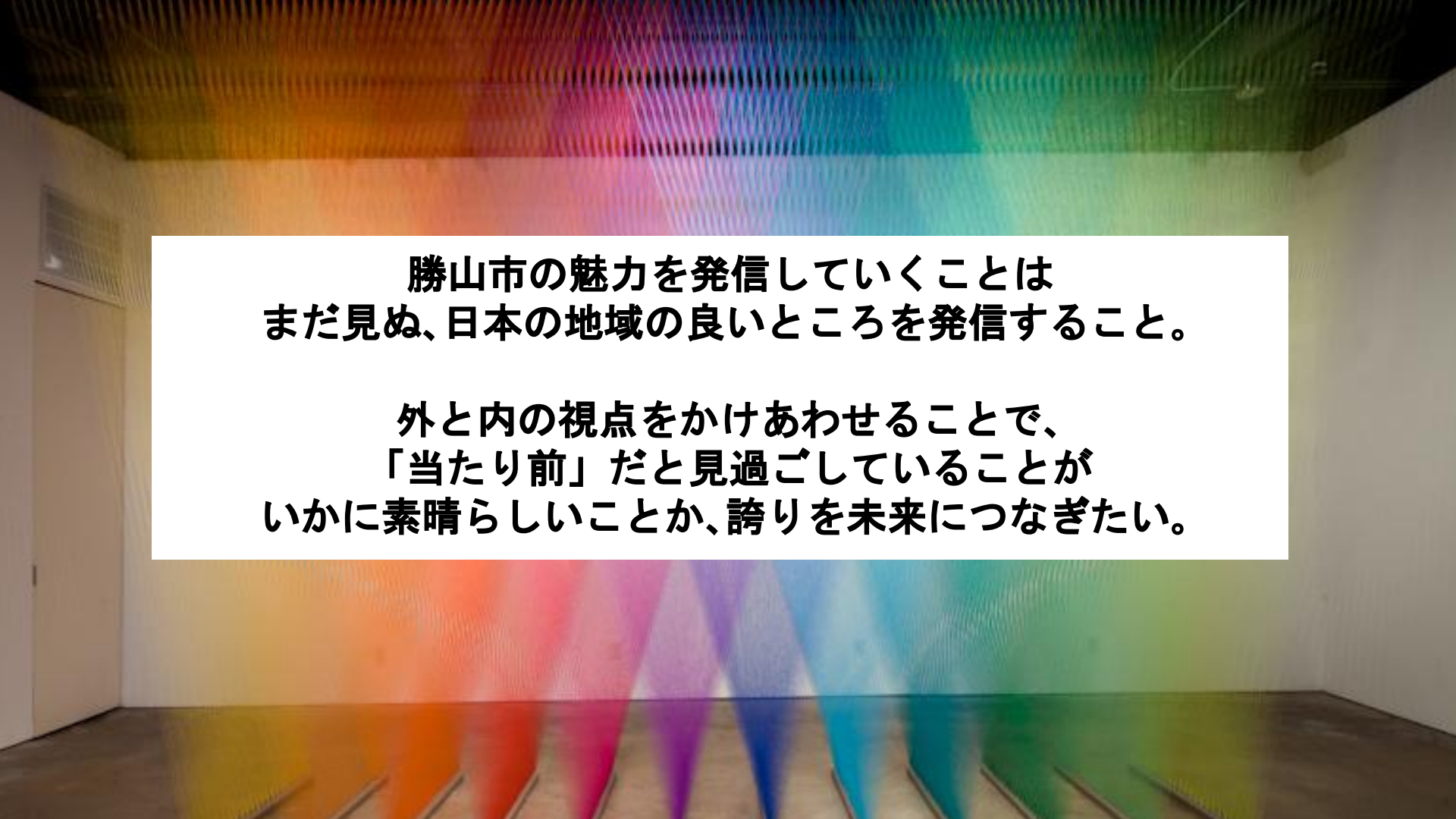
株式会社ハングオーバープレート代表取締役
農山漁村発イノベーション中央プランナー

勝山市での山崎の担当業務（令和 6年度）

1. 繊維産業や食など「ものづくり勝山」の魅力 を掘り起こし
ブランド化するためのリサーチ・企画推進
2. 市内外の交流拠点となるオープンスペースの活用推進企画、
地元愛につながるコミュニティ の企画・運営
3. 市内・対外的プロモーション の強化に係る活動



 **持続可能な勝山の誇りを未来につなげる**



勝山市の魅力を発信していくことは
まだ見ぬ、日本の地域の良いところを発信すること。

外と内の視点をかけあわせることで、
「当たり前」だと見過ごしていることが
いかに素晴らしいことか、誇りを未来につなぎたい。

産総研（国立研究開発法人産業技術総合研究所） × 福井大学 × 松文産業の 産官学プロジェクトにオブザーバーとして参加。 産総研デザインスクールの記事として取材し、発信。



「イノベーション対話を通じて、地域産業を発信するサウナブランドを開発したい」福井大学と松文産業の挑戦 (i-GARAGE HUB)



「母校から母港へ」地域の創造性を引きだし新たな社会実現に向かう i-GARAGE HUB発起人に聞く



日本のものづくり経営を進化させる。i-GARAGE HUBが生むブレクスルーの裏側を産総研が語る



一枚布なのに
段ボールのような形状。

保温性のある生地を開発した
松文産業の独自ファブリックを
デザイン思考で商品化する
プロジェクト

自社のサウナハットを売る売らないの
話ではなく「福井サウナプロジェクト」
みたいな感じで県内のサウナ関連企業や
仲間を増やし、
サウナで福井を売っていきたい。

- 松文産業・小泉さん



勝山の誇りある産業・企業の取り組みを主役とした情報発信

OTEMOTO

いつも視点は、手もとから



工場の古い機械が生み出したプライド、つくり手にも誇りを与える「レインボー組紐」が誕生するまで



捨てられるはずの糸が
誰かの人生を後押しする。

新しい付加価値をつける
取り組みを継続する
多田製紐を全国に発信。

町工場の古い機械が生み出した
プライド。つくり手にも誇りを
与える「レインボー組紐」が誕
生するまで



著者

小林明子

OTEMOTO創刊編集長 / 元BuzzFeed Japan編集長。
新聞、週刊誌の記者を経て、BuzzFeedでダイバーシ
ティやサステナビリティの特集を実施。社会課題と
ビジネスの接点に関心をもち、2022年4月より



ひとりは細い1本の糸だとしても、いろいろな個性が集い、互いに交わり支えあう関係が組みあげられていけば、いつしか組紐のように太くなり、彩りと希望があふれる未来につながる ことでしょう

－ 多田製紐・多田さん





Fukui SDGs Partner

ふくいSDGsパートナー



県内ワイド

組みひもに新たな価値 未来を描こう

地域の未来を描こう

12月24日(金) 12:30

ふくいSDGsパートナー

◆町工場が廃業系で社会貢献

多田製紐 勝山市

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1. 人々の生活の向上 2. 質の高い雇用と経済の成長 3. 持続可能な消費と生産 4. 清潔な水とエネルギー 5. 健全な社会 6. 気候変動対策 7. 持続可能な都市とコミュニティ 8. 公正な社会と繁栄 9. 産業、イノベーションとインフラ 10. 人や国の不平等の解消 11. 持続可能な消費と生産 12. 気候変動対策 13. 持続可能な消費と生産 14. 清潔な水とエネルギー 15. 健全な社会 16. 気候変動対策 17. 持続可能な消費と生産 18. 清潔な水とエネルギー 19. 健全な社会 20. 気候変動対策 21. 持続可能な消費と生産 22. 清潔な水とエネルギー 23. 健全な社会 24. 気候変動対策 25. 持続可能な消費と生産 26. 清潔な水とエネルギー 27. 健全な社会 28. 気候変動対策 29. 持続可能な消費と生産 30. 清潔な水とエネルギー 31. 健全な社会 32. 気候変動対策 33. 持続可能な消費と生産 34. 清潔な水とエネルギー 35. 健全な社会 36. 気候変動対策 37. 持続可能な消費と生産 38. 清潔な水とエネルギー 39. 健全な社会 40. 気候変動対策 41. 持続可能な消費と生産 42. 清潔な水とエネルギー 43. 健全な社会 44. 気候変動対策 45. 持続可能な消費と生産 46. 清潔な水とエネルギー 47. 健全な社会 48. 気候変動対策 49. 持続可能な消費と生産 50. 清潔な水とエネルギー 51. 健全な社会 52. 気候変動対策 53. 持続可能な消費と生産 54. 清潔な水とエネルギー 55. 健全な社会 56. 気候変動対策 57. 持続可能な消費と生産 58. 清潔な水とエネルギー 59. 健全な社会 60. 気候変動対策 61. 持続可能な消費と生産 62. 清潔な水とエネルギー 63. 健全な社会 64. 気候変動対策 65. 持続可能な消費と生産 66. 清潔な水とエネルギー 67. 健全な社会 68. 気候変動対策 69. 持続可能な消費と生産 70. 清潔な水とエネルギー 71. 健全な社会 72. 気候変動対策 73. 持続可能な消費と生産 74. 清潔な水とエネルギー 75. 健全な社会 76. 気候変動対策 77. 持続可能な消費と生産 78. 清潔な水とエネルギー 79. 健全な社会 80. 気候変動対策 81. 持続可能な消費と生産 82. 清潔な水とエネルギー 83. 健全な社会 84. 気候変動対策 85. 持続可能な消費と生産 86. 清潔な水とエネルギー 87. 健全な社会 88. 気候変動対策 89. 持続可能な消費と生産 90. 清潔な水とエネルギー 91. 健全な社会 92. 気候変動対策 93. 持続可能な消費と生産 94. 清潔な水とエネルギー 95. 健全な社会 96. 気候変動対策 97. 持続可能な消費と生産 98. 清潔な水とエネルギー 99. 健全な社会 100. 気候変動対策

県内の交通事故

23日

事故総件数	71件
人身事故	3件
死者	0人
負傷者	3人

今年累計

事故総件数	13507件
(+29件)	
人身事故	565件
(+27件)	
死者	14人
(+6人)	
負傷者	647人
(+35人)	

※24日午前0時現在
12月23日昨年度
12月24日(金) 12:30

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。



余った生地、糸は「可能性」 多様性への理解役目も

勝山市の多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

ふくい地域おこし協力隊活動記

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。

多田製紐は、1963(昭和38)年1月創業。お守り袋や和菓子の包装、窓に取り付けるブラインドなどに使う「組みひも」を製造している。創業時からの製紐機400台を稼働している。従業員は8人、5月にふくいSDGsパートナーに登録した。



勝山のESD教育＝「ふるさと教育」発信

OTEMOTO

いつも視点は、手もとから



福井県勝山市教育委員会
教育監・道関直哉さんが
教員時代から手探りで始めた
「ふるさと教育」を全国発信

「なぜ大人のごみをこどもが拾
うの？」 福井県勝山市の教師
が始めた、生まれ育った場所を
愛する授業



著者

小林明子

OTEMOTO創刊編集長 / 元BuzzFeed Japan編集長。
新聞、週刊誌の記者を経て、BuzzFeedでダイバーシ
ティやサステナビリティの特集を実施。社会課題と
ビジネスの接点に関心をもち、2022年4月ハリス



インプットする勉強だけでなく、
アウトプットすることで初めて、
こどもたちは「自分らしさ」を表現できる。
それぞれのこどもの個性をかけあわせることで
オリジナリティが生まれ、その活動が
地域の新たな魅力となるのです。

- 勝山市教育委員会・道関さん

未来を創る、みんなで創る、私の「推し勝★」キャンペーン 「さあ！勝山しか勝たん山」 推進



未来を創る、みんなで創る、私の「推し勝★」キャンペーン
「さあ！勝山しか勝たん山」 推進



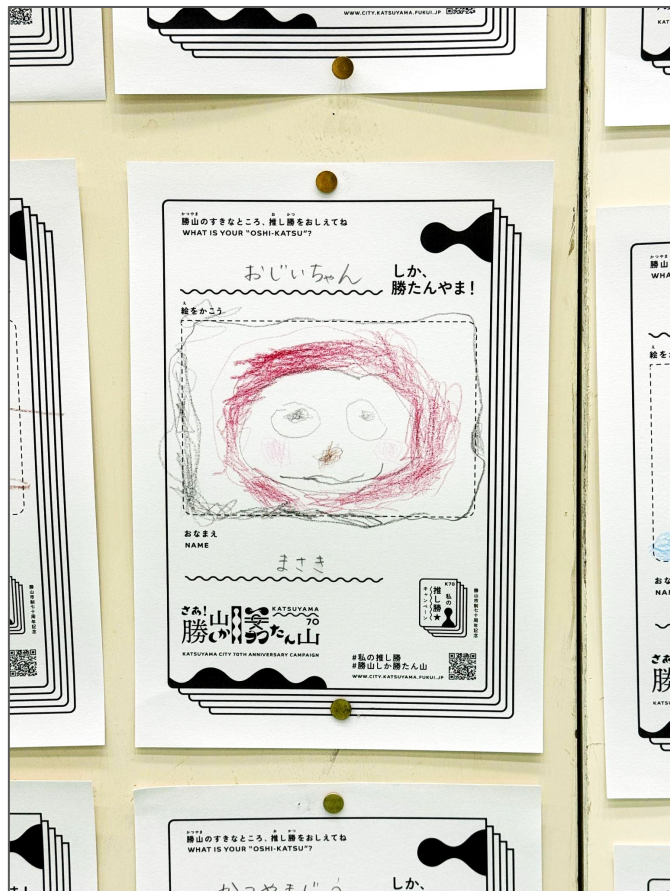
「私の推し勝★」キャンペーン推進



私の「推し勝★」キャンペーンに参加し、勝山の好きなところや、自慢できるところ、知ってもらいたいところをSNSで表明することで、勝山を代表する魅力だけではなく、今まで知らなかった勝山や気が付かなかったけど魅力的な勝山の集合が、市の内外に発信される仕組みになっています。



「私の推し勝★」キャンペーン推進



「地域とアートの未来を考える」座談会



「地域とアートの未来を考える」座談会 参加者の声

**「地域の魅力発掘」とは単純な発見ではなく、
「掘り下げる行為であり、理解を深めること」**

とても話しやすい雰囲気、勝山の良い点悪い点双方に聞いたのが学びが深かった。

今後の勝山市における観光の活性化だけでなく移住者の増加にも繋がるヒントがあると思いました。

プレイパーク勝山笑の楽しい遊び方をみんなで共有できたら良いなと思います。

子育て支援の中に、ここでしか味わえない変わった教育の仕方が出来たら、勝山市の魅力にもなるのでは。

学生さんの気付きにハッとさせられる意見が多く、この場だけでなくたくさんの人に発信していくべき貴重な会でした。

皆さんそれぞれに想いがあって、だんだん自主的に発言されるようになった様子が良かったなあ.....こういう「場」もみんな求めているのかも.....



The image features a repeating pattern of golden Triceratops skeletons against a solid red background. The skeletons are arranged in a way that they appear to be walking or standing in various directions, creating a sense of movement. The lighting highlights the metallic texture of the bones.

ご清聴ありがとうございました